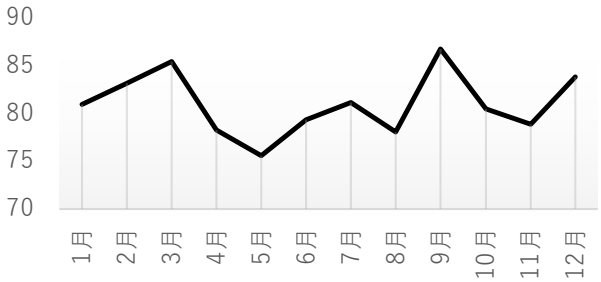
浜松医科大学

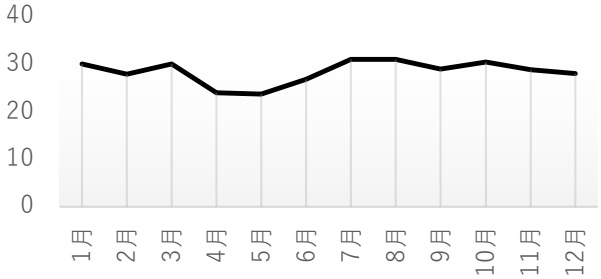
病床数	613床
常勤医師数	19名
指導医数	11名
非常勤医師数	2名
外来コメディカル	12名

診療実績			
	外来	入院	
	1日当たり外来患者数	入院日数	1日当たり入院患者数
1月	81	11	30.1
2月	83.2	10.9	27.9
3月	85.5	10.4	30.1
4月	78.3	9.8	24
5月	75.6	10	23.7
6月	79.4	10.9	26.8
7月	81.2	10.6	31
8月	78.1	10.3	31
9月	86.8	9.9	29
10月	80.5	10.1	30.5
11月	78.9	10.7	28.8
12月	83.9	11.1	28
年間平均	81	10	28.4

1日当たり　外来患者数



1日当たり　入院患者数



全身麻酔症例数　696　例

耳科手術		261	件
鼓室形成術		89	件
	慢性中耳炎	22	件
	真珠腫性中耳炎	61	件
鼓膜チューブ挿入術		30	件
人工内耳手術		18	件
アブミ骨手術		6	件
顔面神経減荷術		11	件
先天性耳瘻管摘出術		8	件
外耳道形成術		2	件
鼓膜形成術		1	件
乳突削開術		51	件
試験的鼓室開放術		0	件
中耳根本術		0	件
内リンパ嚢開放術		0	件
聴神経腫瘍摘出術		0	件
鼓膜切開術		45	件
鼻科手術		322	件
内視鏡下鼻・副鼻腔手術		160	件
鼻中隔矯正術		47	件
鼻甲介切除手術		72	件
視神経管開放術		0	件
涙嚢・鼻涙管手術		2	件
眼窩吹き抜け骨折手術		0	件
顎・顔面骨折整復術		0	件
鼻・副鼻腔良性腫瘍摘出術		16	件
鼻・副鼻腔悪性腫瘍摘出術		6	件
口腔咽喉頭手術		247	件
扁桃摘出術	口蓋扁桃摘出	178	件
	アデノイド切除	49	件
舌、口腔、咽頭腫瘍摘出術		63	件
	口蓋垂・軟口蓋形成術	2	件
	舌・口腔良性腫瘍摘出術	2	件
	舌・口腔悪性腫瘍摘出術	23	件
	咽頭良性腫瘍摘出術	2	件
	咽頭悪性腫瘍摘出術	34	件
喉頭微細手術		9	件
嚥下・誤嚥防止、音声改善手術		29	件
	嚥下機能改善	7	件
	誤嚥防止	14	件
	音声機能改善	3	件
	（うち声帯ポリープ切除）	5	件
喉頭形成術		0	件
喉頭截開術		0	件
頭頸部手術		213	件
頚部郭清術		70	件
顎下腺	良性腫瘍	3	件
	悪性腫瘍	1	件
耳下腺	良性腫瘍	18	件
	悪性腫瘍	3	件
甲状腺	良性腫瘍	39	件
	Basedow病手術	10	件
	悪性腫瘍	26	件
喉頭	悪性腫瘍	11	件
リンパ節生検術		30	件
頸部嚢胞摘出術		2	件
顎下腺摘出術		0	件
食道異物摘出術		0	件
気管異物摘出術		0	件
異物摘出術	（外耳・鼻腔・咽頭）	25	件
気管切開術		63	件
上皮小体過形成手術		9	件
深頸部膿瘍切開術		3	件
外鼻形成術		1	件
鼻中隔穿孔閉鎖術		3	件
広範囲頭蓋底腫瘍切除・再建術		1	件
外耳道骨腫切除術		2	件
中耳腫瘍切除		1	件
			件

学会発表

発表日	筆頭演者	演題名	学会名
2025/4/17	竹内一隆	75歳以上の頭頸部癌患者における免疫チェックポイント阻害薬の検討	第５回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会
2025/6/13	竹内一隆	頭頸部癌におけるCD151の関与	第49回 日本頭頸部癌学会総会
2025/9/12	竹内一隆	口腔癌における予後因子としてのCD151の有用性	第38回日本口腔・咽頭科学会
2025/1/30	石田航太郎	生後6ヶ月の乳児に対して上顎全摘術を要したMelanotic neuroectodermal tumor of infancyの治療経験	第34回日本頭頸部外科学会総会
2025/6/13	石田航太郎	女性頭頸部扁平上皮癌の検討	第49回日本頭頸部癌学会総会
2025/9/12	石田航太郎	進行下咽頭癌に対する術前下部消化管内視鏡検査で得られた同時重複大腸癌の検出率	第38回日本口腔・咽頭科学会
2025/6/20	喜夛淳哉	小児耳鼻科処置における医療従事者の騒音曝露の検討	第20回日本小児耳鼻咽喉科学会総会
2025/10/31	喜夛淳哉	先天性真珠腫が疑われた中耳脂肪腫症例	第35回日本耳科学会総会
2025/11/9	喜夛淳哉	Noise Risks for Healthcare Workers in Pediatric ENT	10th Asia-Pacific Pediatric Otolaryngology Society Conference
2025/12/20	喜夛淳哉	End-Aural Resection of Ceruminous Gland Tumors: Surgical Experience and Visualization Benefits of Exoscope Use	2025 TWGEES-JWGEES-KEESSG Joint Meeting
2025/4/17	三澤　清	乳頭腫病変に対するLiquid biopsyの検討	第5回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会
2025/6/20	今井篤志	アキャルックスが誘因とかんがえられた間質性肺炎の急性増悪例	第49回 日本頭頸部癌学会総会
2025/10/4	今井篤志	頭頸部がん再建手術の周術期における消化管機能に対する大建中湯の効果の検討	第40回日本耳鼻咽喉科漢方研究会
2025/8/23	馬越優征	口蓋扁桃摘出術後出血の危険因子としての、扁桃被膜外組織面積の評価と分析	第42回耳鼻咽喉科ニューロサイエンス研究会
2025/9/11	馬越優征	扁桃摘出術術後出血における病理組織標本のマルチレベルロジスティック回帰分析	第38回日本口腔・咽頭科学会
2025/5/25	森田浩太朗	サルコイド反応が疑われた甲状腺癌再発症例	第37回内分泌外科学会総会
2025/3/6	山田智史	喉頭乳頭腫の新規重症度分類の提案	第37回日本喉頭科学会総会・学術講演会
2025/7/5	大野智里	先天性真珠腫が疑われた中耳脂肪腫の一例	第135会日耳鼻静岡県地方部会学術講演会
2025/7/19	大野智里	先天性真珠腫が疑われたし中耳脂肪腫の一例	第72回中部地方部会連合会
2025/5/17	加納康太郎	Orbital transpositon approachを用いて治療した前頭洞嚢胞の２例	2025年度手術手技研究会
2020/5/28	加納康太郎	Hemitransfixion Approach for Correction of Caudal Septal Deviation	第126回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会総会 international session
2025/6/19	加納康太郎	切除に苦慮した翼口蓋窩神経鞘腫の再発症例	第37回 日本頭蓋底外科学会
2025/9/27	加納康太郎	前頭洞嚢胞に対する眼窩内側壁フラップを用いたOrbital Transposition Approachの1例	第64回日本鼻科学会総会・学術講演会
2025/7/19	堀井彩花	EMMMアプローチを用いて診断に至った悪性リンパ腫の2例	第72回中部地方部会連合会
2025/1/31	千野帆夏	耳下腺腫瘍切除後欠損に対する遊離真皮脂肪移植の経験	第34回日本頭頸部外科学会総会
2025/10/25	千野帆夏	術前声帯麻痺のない局所進行甲状腺癌の手術における反回神経温存率	第136回日耳鼻静岡県地方部会学術講演会
2025/11/7	千野帆夏	術前声帯麻痺のない局所進行甲状腺癌の手術における反回神経温存率	第76回日本気管食道科学会総会ならびに学術講演会
2025/9/27	菅原康介	当科における鼻副鼻腔乳頭腫の臨床的検討	第64回日本鼻科学会総会・学術講演会
2025/5/29	瀧澤義徳	当科における唾液腺癌の検討	第126回日本耳鼻咽喉科・頭頸部外科学会
2025/8/28	瀧澤義徳	耳鼻科診療と最近の話題	浜松市医師会　第2981回診療協議会
2025/11/7	瀧澤義徳	喉頭乳頭腫の悪性転化例	第76回日本気管食道科学会総会ならびに学術講演会
2025/5/28	佐原聡甫	Hearing and facial prognosis in facial nerve decompression with preservation of the ossicular chain	第126回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 総会・学術講演会
2025/10/17	佐原聡甫	Auditory Neuropathyを呈したDIAPH1バリアント例	第70回日本聴覚医学会・学術総会
2025/10/31	佐原聡甫	当院におけるMalleus attachment pistonを使用したアブミ骨手術例の検討	第35回日本耳科学会・学術総会
2025/12/18	佐原聡甫	Auditory neuropathy caused by a frameshift variant of DIAPH1 gene	第70回日本人類遺伝学会
2025/10/25	植田翔	顎関節に発生したびまん形腱滑膜巨細胞腫の1例	第136回日耳鼻静岡県地方部会学術講演会

原著(欧文)　著者	題名	雑誌名	巻（号）	Page
Kotaro Ishida, Akitoshi Hayashi, Yusuke Ota, Mayu Fujihiro, Daiki Mochizuki, Kotaro Kano, Kiyoshi Misawa	Timely Diagnosis and Multidisciplinary Management of Melanotic Neuroectodermal Tumor of Infancy Through Total Maxillectomy and Immediate Reconstruction Using Cryopreserved Autografts: A Case Report	Annals of Plastic Surgery	95(6)	640-643
Akamatsu Y, Ojima T, Nakanishi H, Misawa K, Nakayama T	Association of high-frequency hearing loss with examination data and lifestyle in 36,000 middle-aged and older adults	Geriatrics & Gerontology International	25(3)	366-373
Sugiyama N, Yamada S, Nakamura Y, Morita K, Kano K, Ishida K, Takeuchi K, Kita J, Sahara S, Sugawara K, Nagai K, Matsuda S, Hayashi A, Makoshi Y, Mochizuki D, Nakanishi H, Imai A, Takizawa Y, Misawa Y, Misawa K	Epigenetic Modification of Muscarinic Acetylcholine Receptors in Squamous Cell Carcinoma of the Head and Neck	Anticancer Research	45(1)	81-95
Ayaka Sugiura, Hiroki Morimoto, Satoshi Yamada, Tetsuya Honda	Anaphylaxis and Episodic Urticaria Associated With Sialodochitis Fibrinosa	The Journal of Dermatology	Epub ahead of print	
Kotaro Kano, Satoshi Yamada, Arika Matsushita, Taiki Mori, Mamoru Masuda,Yusei Makoshi, Shigeru Matsuda, Kotaro Ishida, Kazutaka Takeuchi Yuki Nakamura, Kosuke Sugawara, Sosuke Sahara, Natsuki Sugiyama, Junya Kita, Kotaro Morita, Hiroshi Nakanishi, Atsushi Imai, Jun Okamura, Yoshinori Takizawa, Yuki Misawa, Kiyoshi Misawa	Complete and successful resection of antrochoanal polyps using endoscopic modified medial maxillectomy	Auris Nasus Larynx	52(2025)	790-795
Kristy A. Warner, Sosuke Sahara, Alexandra Herzog, Felipe Nor, Rogerio Castilho, Peter Polverini, Jacques E. Nor*	Characterization of uniquely tumorigenic cancer stem cells in salivary gland adenoid cystic carcinoma	Front. Oral Health	6	1570042
Kita J, Nakanishi H, Tamakoshi A, Sone M, Sahara S, Misawa K	Screaming-induced acute noise exposure during pediatric ear procedures	Laryngoscope Investigative Otolaryngology	11	e70396

原著論文（邦文）　著者	題名	雑誌名	巻	号	Page
竹内一隆	縦隔甲状腺腫の手術検討	日気食会報	76	6	299-306
杉山夏樹	生検を契機に急速増大した軟口蓋神経鞘腫例	耳鼻臨	118	4	293-298
井上有美	喉頭蓋に生じた木村病の一例	喉頭	37	1	28-34
佐原聡甫	先天性真珠腫が疑われたランゲルハンス細胞組織球症（LCH）の小児例	耳鼻臨	118	7	489-495

総説・解説　著者	題名	雑誌名	巻	号	Page
竹内一隆	頭頸部癌の分子生物学と発生機序-HPV感染と中咽頭癌の発がん	日本臨牀	83	6	101-105

講演	講演　筆頭発表者	題名	学会研究会名
2025/11/7	竹内一隆	パネルディスカッション4「気道乳頭腫への対応と対策」再発性呼吸器乳頭腫症における新規観察法と再発予測スコアの開発	第76回日本気管食道科学会総会
2025/2/11	喜夛淳哉	サイトメガロウイルス感染症と難聴	第15回羽衣セミナー
2025/5/10	喜夛淳哉	きこえの勉強会	人工内耳友の会
2025/6/2	喜夛淳哉	気管カニューレの管理	友愛のさと　勉強会
2025/8/4	喜夛淳哉	きこえの勉強会	浜松聾学校教員向け勉強会
2025/8/19	喜夛淳哉	耳鼻科を知ろう	令和７年度こころざし育成セミナー
2025/8/21	喜夛淳哉	小児耳鼻科処置における医療従事者の騒音曝露の検討	ORL Seminar in Shinshu/Hamamatsu 2nd
2025/11/20	喜夛淳哉	小児難聴とcCMV感染症	産婦人科小児科懇話会
2026/2/11	喜夛淳哉	耳のしくみと難聴	聞こえと補聴器なんでも相談会
2025/1/18	三澤　清	Quality of work and lifeの向上を目指した頭頸部疾患治療	第31回東海耳鼻咽喉科生体防御研究会
2025/4/12	三澤　清	Quality of work and lifeの向上を目指した頭頸部疾患治療	香川地方部会講演
2025/5/29	三澤　清	HPV関連頭頸部腫瘍ー研究のcutting edgeーリキッドバイオプシーの有用性	日耳鼻総会＿MSD医学教育事業助成セミナー
2025/6/20	今井篤志	医者の仕事に触れてみよう！	静岡県立榛原高等学校第1回科学講演会
2025/7/9	今井篤志	頭頸部癌の栄養管理	NST専門療法士認定教育施設実地修練研修
2025/11/29	今井篤志	頭頸部がんと栄養支持療法＆最新TOPIC	Hamamatsu Otolaryngology Conference HOC
2026/1/26	今井篤志	頭頸部癌における栄養管理	第238回 浜松医科大学NST勉強会附属病院
2025/3/8	加納康太郎	How to approach Maxillary sinus lesions	2025年度韓国鼻科学会 Annual Spring Meeting
2025/4/5	加納康太郎	嗅覚障害を意識したESS治療	デュピクセント5周年記念講演会
2025/5/29	加納康太郎	鼻内内視鏡ハンズオン	第126回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会総会　ハンズオン講師
2025/6/27	加納康太郎	上顎洞へのアプローチ方法とその選択	第87回耳鼻咽喉科臨床学会総会・学術講演会　モーニングセミナー
2025/7/27	加納康太郎	鼻内内視鏡ハンズオン	第一回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会サマースクール
2025/7/28	加納康太郎	鉤状突起の切除方法	eNTrance2025-2026 #1上顎洞アプローチ
2025/8/30	加納康太郎	Rhinologistとしてのキャリア形成	福岡鼻科学若手勉強会
2025/9/26	加納康太郎	鼻内内視鏡ハンズオン	第64回日本鼻科学会総会・学術講演会
2025/9/27	加納康太郎	高精細内視鏡が描き出すESS基本手技と応用技術	第64回日本鼻科学会総会・学術講演会
2025/9/27	加納康太郎	鼻中隔手術Ⅲ型の実際	第64回日本鼻科学会総会・学術講演会
2925/12/7	加納康太郎	鼻解剖実習インストラクター	2025年度大阪公立大学　鼻解剖実習

年度	研究種目	研究代表者	研究科題名	課題番号	経費（千円）
令和７年	大学院生学生研究支援事業	竹内一隆	HPV関連中咽頭癌に特徴的な遺伝子発現の解明		13
令和6年	ペガサス基金若手医師助	喜夛淳哉	小児耳鼻科処置における医療従事者の騒音暴露評価		500
令和7年-8年	若手研究	佐原　聡甫	頭頸部癌におけるシングルセルATAC-seqによるエピジェネティクス研究	25K20164	4810
令和5年度	基盤C	今井篤志	頭頸部癌のエクソソーム、ctDNAの統合解析によるモニタリングシステムの確立	23K08911	4680
令和７年	2025年度曽田豊二SPIO奨学金	山田智史	癌幹細胞性に着目した唾液腺粘表皮癌治療抵抗性メカニズムの解明		1000
令和5年-8年	基盤研究B	三澤　清	HPV感染の可視化から多様性獲得の解明によって切り拓く新規癌治療法の開発	23K27745	1470
令和5年-7年	基盤研究C	今井　篤志	頭頸部癌のエクソソーム、ctDNAの統合解析によるモニタリングシステムの確立	23K08911	360
令和5年-7年	基盤研究C	望月　大極	頭頸部癌における環状RNA解析及びバイオマーカー探索	23K08981	360
令和5年-7年	基盤研究C	竹内　一隆	頭頸部癌におけるRNA修飾とRNA編集のメカニズム解明	23K08960	360
令和6年-8年	基盤研究C	喜夛　淳哉	HPV粒子の可視化とHippo経路から紐解く鼻副鼻腔内反性乳頭腫の悪性転化機構	24K12669	360
令和6年-8年	基盤研究C	森田　浩太郎	HPV感染現象における宿主細胞コンピテンシーに関わる因子の解明	24K12716	360
令和6年-8年	基盤研究C	杉山　夏樹	中咽頭癌の三次元立体構造変化を伴う転写制御異常に基づく個別化と治療標的の解明	24K12668	360
令和6年-7年	若手研究	三澤　由幾	再発頭頸部癌の免疫治療抵抗性克服のための革新的治療法の開発	24K19747	360
令和6年-8年	若手研究	山田　智史	ナノスーツ法によるHPV粒子数に着目したHPV関連中咽頭癌の前癌病変の同定	24K19768	370
令和7年-8年	若手研究	佐原　聡甫	頭頸部癌におけるシングルセルATAC-seqによるエピジェネティクス研究	25K20164	370

受賞	賞名	団体
5月28日	耳鼻咽喉科教育・育成功労賞 2024	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会
8月23日	第42回耳鼻咽喉科ニューロサイエンス研究会　優秀発表賞	馬越優征
令和7年3月5日	第30回浜松医科学シンポジウム 最優秀賞	山田智史

病院の歴史・コメント

浜松医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科は、1977 年に野末道彦教授を初代教授として開講しました。その後、1995 年に星野知之教授が第 2 代教授に就任され、2003 年には本学第 1 期生である峯田周幸教授が第 3 代教授を務められました。2021 年には三澤清教授が第 4 代教授として就任され、現在に至っています。

現在は三澤清教授、瀧澤義徳准教授のもと、「臨床・研究・教育」を三本柱として教室運営を行い、日々研鑽を積んでいます。

頭頸部診療では、今井篤志病院准教授、森田浩太朗助教、石田航太郎医師、松田慈診療助教、馬越優征医師を中心に、手術療法、放射線治療、化学療法、遺伝子検査などを組み合わせた集学的治療を実践しています。初期治療から再発・遠隔転移症例まで切れ目のない診療を提供しており、進行頭頸部癌に対しては形成外科、消化器外科、脳神経外科などと連携し、遊離組織移植を伴う拡大手術にも積極的に取り組んでいます。また、2025 年 12 月より手術支援ロボット「da Vinci」を用いた経口的ロボット支援手術（TORS）を導入し、早期頭頸部癌に対する低侵襲治療も開始しました。さらに、上顎癌に対する超選択的動注化学放射線療法や、再発頭頸部癌に対するアルミノックス治療（光免疫療法）にも対応しています。

耳科診療では、中西啓講師、喜夛淳哉助教、佐原聡甫助教を中心に診療を行っており、2026 年 4 月からは曽根大貴診療助教が加わりました。真珠腫性中耳炎や先天性難聴、人工内耳埋込術などをはじめ、経外耳道的内視鏡下耳科手術を含む幅広い耳科手術を実施しています。また、先天性サイトメガロウイルス感染症関連難聴に対しては、早期診断・早期治療につなげるため関連施設との連携強化や啓発活動を進めています。研究面では、人工聴覚器の両耳装用効果に関する多施設共同研究や、難聴の病因解明を目的とした遺伝子解析にも継続して取り組んでいます。

鼻・副鼻腔診療では、加納康太郎助教、菅原康介診療助教を中心に、好酸球性副鼻腔炎をはじめとする炎症性疾患や鼻閉に対する外鼻形成術を行っています。特に鼻副鼻腔腫瘍や前頭蓋底病変に対する内視鏡手術症例が多く、脳神経外科との合同手術も積極的に行うことで、安全性と根治性の両立を目指しています。また、分子標的薬治療やアレルギー性鼻炎に対する舌下免疫療法などの薬物療法にも幅広く対応しています。近年は基礎研究分野にも力を入れ、新たな知見の創出に努めています。

睡眠時無呼吸症候群・いびき診療では、三澤教授、中安一孝医師、杉山夏樹診療助教を中心に診療を行っており、2026 年 4 月からは名倉診療助教が加わりました。終夜睡眠ポリグラフ検査（PSG）による診断から外科的治療まで一貫した診療体制を構築しています。扁桃摘出術においては、安全性を重視した教育体制のもと、若手医師の技術習得にも力を注いでいます。

音声外科診療では、自治医科大学の金澤丈治教授を定期的に招聘し、喉頭形成術や喉頭微細手術に取り組んでいます。高度な音声外科手術を通じて、教室員の技術向上と専門性の深化を図っています。また、めまい診療については三澤由幾医師を中心に行っています。

研究面では、三澤教授を中心として抄読会やリサーチミーティングを定期的に開催し、研

究活動の支援体制を整えています。また、科研費をはじめとした外部研究資金の継続的な獲得にも努めています。技術補佐員である毛利氏による研究支援体制も充実しており、大学院生である中村友樹医師、竹内医師、石田医師、渡邉尚喜医師らの研究活動を積極的に支援しています。

難治性再発性喉頭乳頭腫に対しては、山田診療助教を中心に新たな再発予測指標であるHAARP score を提唱しました。本指標は浜松から発信された成果として国際的な評価を受けつつあります。

医局運営における重要課題である医局員勧誘についても、これまで構築してきた体制の成果が着実に表れています。これもひとえに、竹内一隆副医局長をはじめとする勧誘担当者、ならびに関連病院および同門の先生方の多大なるご尽力とご支援の賜物であり、改めて深く感謝申し上げます。教育面では選択ポリクリを中心に実習内容の充実を図り、耳鼻咽喉科に興味を持つ学生も年々増加しています。

多様化する社会の中で、教室員一人ひとりのライフプランを尊重しながら柔軟なキャリア形成を支援しています。専攻医をはじめとする若手医師は診療・研究・教育に主体的に関わり、教室の活力を支える存在となっています。今後も静岡県における耳鼻咽喉科医療の発展と次世代の耳鼻咽喉科医育成に貢献できるよう、教室員一同さらなる努力を重ねてまいります。